

国産ロボ使い胃がん手術 22面

徳島大学病院は、国産の内視鏡手術支援ロボット「hinotori（ヒノトリ）」を使った胃がんの手術に成功したと発表した。四国の病院では初めてで、中四国では2施設目という。同大の胃がんの手術ではこれまで米国製の内視鏡手術支援ロボットを利用しており、170例以上の使用実績があるが、国産の支援ロボットは初めて。

徳島大学病院、四国初

国産支援ロボで 胃がん手術成功

徳島大学病院は、国産の内視鏡手術支援ロボット「hinotori（ヒノトリ）」を使った胃がんの手術に成功したと発表した。四国の病院では初めてで、中四国では2施設目という。同大の胃がんの手術ではこれまで米国製の内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」を利用しており、2018年から170例以上の使用実績があるが、国産の支援ロボットは初めて。

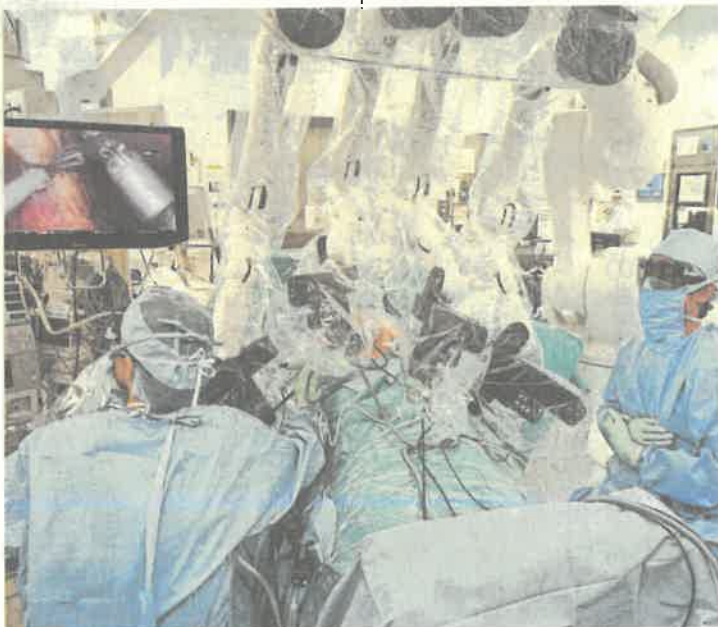
十二指腸側の胃の3分の2を切除し、残りの胃と十二指腸をくっつける手術で9月下旬に実施した。患者の術後は良好で、10月中旬に退院したという。

内視鏡や手術器具を装着したロボットアームを、コ

によって、より安全で患者

治療の選択肢増す

「ヒノトリ」を使って行われた胃がんの手術＝徳島市の徳島大学病院（同病院提供）



の体への負担が少ない手術が可能になるといえる。泌尿器科領域での使用が保険適用となり、21年4月に中消化器・移植外科の島田光生教授は「国産の手術支援ロボットが使用できるようになり選択肢が増えた。安全で高度な医療を提供したい」と話した。

ヒノトリは20年9月に泌

（佐藤聡美）